氏名：　縣　右門

研究教育業績（過去５年間）

Ⅰ．研究業績

１．主な発表論文

［原著論文］

国際誌(査読あり)

1) Lin W., Zhong H., Sun Y., Yang C., Matsunaga S., Agata U., Chen F., The Influence of Taking Nangappiry extract (α-Glucosidase Inhibitors) after Engaged in Moderate-Intensity Exercise on Blood Glucose, *NCYU Physical Education, Health & Recreation & Recreation Journal,* **19**, (accept 2020).

2) Aikawa Y., Kakutani Y., Agata U., Hattori S., Ogata H., Kiyono K., Ezawa I., Omi N., Adequate Energy Intake Prevents Low Bone Mass Under Exercise and Low Intake of Nutrients in Young Female Rats, *Am J Sport Sci,* **7**, 127-135 (2019).

3) Aikawa Y., Agata U., Kakutani Y., Kato S., Noma Y., Hattori S., Ogata H., Ezawa I., Omi N., The preventive effect of calcium supplementation on weak bones caused by the interaction of exercise and food restriction in young female rats during the period from acquiring bone mass to maintaining bone mass, *Calcif Tissue Int*, **98**, 94-103 (2016).

邦文誌(査読あり)

1) 大室智史, 縣右門, 北本勝ひこ, 麹甘酒「甘こうじ」の機能性に関する研究, 日本薬科大学紀要, **5**, 72-77 (2019).

［総説］

1) 縣右門, カルシウムパラドックスの増悪に対する予防法の検討, 埼玉県薬剤師会雑誌, **44**, 14-16 (2018).

２．主な学会発表

［国内学会］　（査読あり）

1) 陳福士，多根井重晴，鍾慧于，林煒哲，藍旺蒼，孫一心，松永修司，縣右門，ニャンガピルエキス配合製品を併用した運動療法における有用性の検討について，第74回日本体力医学会大会，9月，茨城 (2019)

３．その他特筆すべき研究業績

縣　右門, 令和 2 年度科学研究費助成事業若手研究, 1650 千円（総額 1650 千円）(2020-2024).

山本　博之, 縣　右門, 令和 2 年度筑波大学 ARIHHP 公募型「共同利用・共同研究」, 100 千円（総額 100 千円）(2020-2021).

縣　右門, 令和元年度日本薬科大学学術研究助成(日本薬科大学), 400 千円(総額 400 千円)(2019-2020).

縣　右門, 平成30年度日本薬科大学学術研究助成(日本薬科大学), 400千円(総額400千円)(2018-2019).

縣　右門, 平成29年度日本薬科大学学術研究助成(日本薬科大学), 200千円(総額200千円)(2017-2018).

Ⅱ．教育業績

１．担当授業科目

2020 年度
栄養学概論（スポーツ薬学コース 2 年）
研究方法論Ⅰ（スポーツ薬学コース 3 年）
研究方法論Ⅱ（スポーツ薬学コース 3 年）
体力評価測定学（スポーツ薬学コース 3 年）
キャリアデザイン演習Ⅲ（スポーツ薬学コース 3 年）
医療ビジネス薬科学演習（スポーツ薬学コース 4 年）11 コマ
運動生化学（スポーツ薬学コース 4 年）
健康つくりプログラム論（スポーツ薬学コース 4 年）
卒論研究（スポーツ薬学コース 4 年）

2019 年度
栄養学概論（スポーツ薬学コース 2 年）
研究方法論Ⅰ（スポーツ薬学コース 3 年）
研究方法論Ⅱ（スポーツ薬学コース 3 年）
体力評価測定学（スポーツ薬学コース 3 年）
キャリアデザイン演習Ⅲ（スポーツ薬学コース 3 年）
医療ビジネス薬科学演習（スポーツ薬学コース 4 年）11 コマ
運動生化学（スポーツ薬学コース 4 年）
健康つくりプログラム論（スポーツ薬学コース 4 年）
卒論研究（スポーツ薬学コース 4 年）

2018 年度
栄養学概論（スポーツ薬学コース 2 年）
健康増進学（スポーツ薬学コース 2 年）
研究方法論Ⅰ（スポーツ薬学コース 3 年）
研究方法論Ⅱ（スポーツ薬学コース 3 年）
体力評価測定学（スポーツ薬学コース 3 年）
医療ビジネス薬科学演習（スポーツ薬学コース 4 年）11 コマ
運動生化学（スポーツ薬学コース 4 年）
健康つくりプログラム論（スポーツ薬学コース 4 年）
卒論研究（スポーツ薬学コース 4 年）

2017 年度
栄養学概論（スポーツ薬学コース 2 年）
健康増進学（スポーツ薬学コース 2 年）
スポーツ医学（スポーツ薬学コース 3 年）
体力評価測定学（スポーツ薬学コース 3 年）
アスレティックリハビリテーション論（スポーツ薬学コース 4 年）

運動生化学（スポーツ薬学コース 4 年）
健康つくりプログラム論（スポーツ薬学コース 4 年）
卒論研究（スポーツ薬学コース 4 年）

２．その他特筆すべき教育業績

縣　右門：免疫力を高める食事および運動，桶川市食育講演会，オンライン配信（2020）
縣　右門:なぜドーピングはいけないのか, 日本薬科大学オープンキャンパス講演, 日本薬科大学(2019)
縣　右門：健康アップスリムアップチャレンジ健康セミナー，桶川市保健センター（2019）
縣　右門:なぜドーピングはいけないのか, 日本薬科大学オープンキャンパス講演, 日本薬科大学(2018)